

JFA 第23回全日本女子フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 兼 2026年度 第25回北海道女子フットサル選手権大会 開催要項

1. 主 旨 北海道内における女子フットサルの技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子フットサルの普及振興に寄与することを目的として、本大会を実施する。併せて公益財団法人日本サッカー協会が主催する全日本女子フットサル選手権大会北海道予選を兼ねる。
2. 名 称 JFA 第23回全日本女子フットサル選手権大会 北海道代表決定戦
兼 2026年度 第25回北海道女子フットサル選手権大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人北海道フットサル連盟、一般社団法人札幌地区サッカー協会、
特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、
札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
6. 協 賛 株式会社ミカサ
7. 期 日 2026年10月24日(土)・25日(日)
8. 会 場 ○札幌市清田区体育館 (10月24日)
札幌市清田区平岡1条5丁目4-1 TEL011-882-9500
○北海きたえーる サブアリーナ (10月24日～25日)
札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 TEL 011-820-1703
9. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」、「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル1種」チームは、「フットサル2種」「フットサル3種」とし、「フットサル1種」の選手は適用対象外となる。「フットサル2種」チームは、「フットサル3種」のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2014年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2008年4月2日以降2014年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合： 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合： 登録料 4,000円

- (4) 所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合、選手は他のチームで参加していないこと。
 - (5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (6) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFFのフットサル年間加盟登録料の振込完了を以って加盟したチームとする。)
10. 参加チーム数 本年度の北海道女子フットサルリーグ出場チームを優先し、最大16チームとする。
11. 大会形式
- (1) ノックアウト方式で行う。
 - (2) 3位決定戦はおこなわない。
 - (3) 本年度の日本女子フットサルリーグ参加チームと前年度の北海道女子フットサルリーグ1部優勝チームの2チームが参加する場合は、原則として1回戦はシードとする、または、両チームが決勝戦まで対戦しない組合せとする。
 - (4) 上記(3)は、参加チーム数に応じてHKFAフットサル委員会が決定する。
12. 競技規則 大会実施年度のJFAフットサル競技規則による。
13. 競技会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) ピッチサイズは、原則として40m×20m とするが、使用する体育館の形状により変更する場合がある。
 - (2) 試合球は、ミカサ製 FS450E-BK 4号ボールとする。
 - (3) 試合には、選手14名以内のエントリーで、交代要員は、9名以内とする。また、ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数2名以内とする。
 - (4) ベンチに入ることのできる人数は 14名以内(交代要員9名、役員5名以内)とする。ただし、通訳が試合に登録されている場合は、役員は6名以内とする。
 - (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - (6) ユニフォーム
 - ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ ゴールキーパーが怪我や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。
 - ⑥ シャツの前面・背面に選手番号をつけること。なお、選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。ユニフォーム生地に布等を縫い付けて番号等を掲示(以下、「貼り番」という。)することは原則認めないが、下記⑦および⑧の場合に限り認める。

- ⑦ 貼り番する場合は、事前に登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用し、四辺が縫い合わされていること。掲示される番号についても事前に登録されたユニフォームに取り付けられた番号色と同色にて掲示するものとする。
 なお、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色(縦縞・横縞等)である場合は大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。
 - ⑧ 前項⑦について緊急性を要する事情、または突発的な事情により急遽、対応しなければならない事情(貼り番を白布地・黒番号等とする使用)が生じた時は、会場運営責任者の承諾を得た場合のみ上記⑦の適用を除外とすることができる。その際はマッチコーディネーションミーティング(以下、「MCM」という。)時に確認する。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に届出すること。
 - ⑨ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ⑩ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ⑪ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑫ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑬ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。
- (7) 靴
- ① キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。
 - ② 施設の管理者が認めた場合、ノンマーキングのフットサルシューズは使用可とする。
 - ③ 靴の規定は、チーム役員にも適用する。
- (8) ビブス
- 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) キャプテンアームバンド
- 本協会によって用意または認められたアームバンドのみ着用が認められ、本協会によって認められたアームバンドを着用する場合は本協会ユニフォーム規程に準拠すること。
- (10) 試合時間
- 40分間(各20分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)とする。
- (11) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 決勝を除き、勝敗が決定しない時は、PK戦により勝敗を決定する。
 - ② 決勝において勝敗が決定しない時は、10分間(各ピリオド5分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK戦により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。
- (12) タイムアウトは、全てにおいて適用する。

14. 懲 罰
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
 - (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (4) 前項(3)により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。
 - (5) 本大会終了時点で未消化の出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、JFA第23回全日本女子フットサル選手権大会出場チームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 - (6) 本大会の大会規律委員会は、出場停止処分2試合までの懲罰問題を処理する。
 - (7) 大会規律委員会の委員長は、HKFAフットサル委員長とし、委員は2名以上で構成すること。
 - (8) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
15. 参 加 料 等 参加料:90,000円(消費税10%込)
16. 参 加 申 込
- (1) チームが参加する意向を示した後に何ら理由を問わず参加を辞退する場合は、次年度以降の参加を認めない場合がある。
 - (2) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員5名以内(ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6名以内とする。)を上限とする。
 - (3) 参加申込は、所定の書類(下記(9)申込先(A)に記載の a ~ f)を下記(7)の期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
 - (4) 参加料等は、申込みと同時に申込先(C)へ納入すること。
 - (5) 選手が中学生・高校生の場合は、親権者の承認印のある親権者同意書を下記(7)の期日までに申込先(B)に送付すること。なお、2026年度中に提出済みの場合は不要。
 - (6) ユニフォームに広告を掲示する場合は、当該年度のユニフォーム広告掲示回答書写しを申込先(A)宛に送付すること。
 - (7) 申込締切日: 2026年10月13日(火)15時まで必着
 - (8) 上記(7)申込締切日以降の参加申込書の内容変更について、以下の通りとする。
所属地区サッカー協会を通じて所定の書式を E-mail にて提出すること。
 - ① 選手の変更は認めない。
 - ② 役員の変更は、2026年10月15日(木)15時まで認める。
 - (9) 申込先(A) 所属地区サッカー協会事務局
 - a 参加申込書(E-mail)
※選手およびチームの登録番号を必ず記載のこと。
 - b ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。
(デザイン画不可)
 - c プライバシーポリシー同意書(E-mail)
 - d 懲罰処分についてのアンケート(E-mail)
 - e スポーツ安全保険またはそれに準じた保険加入書類の写し
 - f ユニフォーム広告掲示回答書写し

申込先(B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101
・親権者同意書(郵送) ※チーム対応

申込先(C) (一社)北海道フットサル連盟
〒062-0003 札幌市豊平区美園3条7丁目2-8-110
TEL 011-827-7638 FAX 011-827-9738
E-mail : entry-hff@futsal.jp (大会専用)
・参加料90,000円(消費税10%込)
[大会参加料等振込口座]
北洋銀行 南郷通支店 (普)3912478
一般社団法人北海道フットサル連盟 会長 荒川 浩幸

17. 組 合 せ 組み合わせは、HKFAフットサル委員会にて抽選し決定する。なお、組み合わせ結果はHKFAの公式ホームページにて確認すること。
<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)
18. 帯 同 審 判 本大会は、帯同審判員制を行わず、HKFA審判委員会および主管地区サッカー審判委員会より審判員を派遣する。
19. 監 督 会 議 (1) 日 時： 2026年10月15日(木) 19:30～
(2) 会 場： オンライン会議とする。
20. 開 会 式 実施しない。
21. 表 彰 式 および閉会式 (1) 優勝、準優勝には表彰状およびカップを授与する。第3位には表彰状を授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場にて行う。
22. 負 傷 お よ び 事 故 の 責 任 (1) 大会期間中の負傷および事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師および救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 参加チームはスポーツ保険またはそれに準じた保険(物損等損害賠償が対象となるもの)に加入していること。
23. そ の 他 (1) マッチコーディネーションミーティング
① 当該試合開始40分前に実施する。なお、1回戦のユニフォームカラーの決定については、申込み時に提出のユニフォームの写真により運営委員会にて決定し、事前にチームへ連絡する。
② 準決勝および決勝においては、JFA認定マッチコミッショナー、運営スタッフ、両チームの監督および審判員出席のもと以下について行う。
(ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。
(イ) FPおよびGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
(2) メンバー提出用紙
メンバー提出用紙は、1回戦は試合開始40分前までに大会本部に持参すること。それ以降はマッチコーディネーションミーティング時に提出すること。
(3) 選手証
選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものである。

- (4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず監督会議に出席することが出来ない場合、及び試合において監督がベンチ入りできない場合は、速やかに所属地区協会を通じて監督代行届に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)の氏名を記載してHKFA事務局に電子メールにて提出すること。
- また、不測の事態等のやむを得ない事情により監督が試合当日に欠席する場合は、電話等で会場運営責任者に連絡すること。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に報告すること。
- ① 監督会議を無断欠席した場合は、対応を大会規律委員会で協議する。
- ② 試合当日に無断欠席した場合は、当該試合は棄権試合とする。
- (5) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (6) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。ただし、熱中症対策を講じる場合は、JFA「熱中症対策マニュアル」に基づきスポーツ飲料を認める場合がある。
- (7) 本大会にあたっては、以下通知の通りとする。『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』
<https://www.hfa-dream.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/HKFACOV19Category5Update.pdf>
- (8) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (9) 組み合わせ決定後にチームが参加を辞退した場合、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (10) 本開催要項に記載のない事項については、HKFAフットサル委員会にて決定する。
- (11) 優勝チームには、2027年3月5日(金)～3月7日(日)にエコパアリーナ(静岡県)で開催される、JFA 第23回全日本女子フットサル選手権大会の参加を義務づける。ただし、優勝チームが出場を辞退した場合は、準優勝のチームを繰り上げて参加させる。なお、参加チームには、選手12名、役員2名を上限にJFAが定める基準により、交通費・宿泊費の補助がある。

以上